

鳥獣被害防止総合対策事業の評価報告(令和元年度報告)

事業主体

南伊勢町

1 被害防止計画の特徴等

三重県の中南部に位置しており、基幹産業である柑橘を中心に野生鳥獣による被害が深刻化しており、生産意欲の衰退を引き起こしている。そのことによる耕作放棄地の増加や生態系への悪影響が危惧されている。当町の被害対策の特徴としては、集落ぐるみで獣害対策に取り組む体制づくりを目指し、侵入防止柵設置や有害獣の捕獲を進めている。

2 事業効果の発現状況

若手の農業者等が狩猟免許を新たに取得して捕獲を始めていることや、猟友会の協力をいただき有害捕獲数の実績は増えてきている。被害が多い地域から捕獲柵設置の要望に応じ、町の対策実施隊が中型柵・小型柵の移設、設置を行っている。また、町内全域で防護柵(金網柵、電気柵)を設置し、農家の耕作意欲の向上が確認出来た。

3 被害防止計画の目標達成状況

本事業を活用した有害捕獲の実施のほか、他事業を活用して実施した獲檻等の購入や侵入防止柵の設置など、総合的に被害防止対策を実施したことにより、被害金額目標を達成することができたが、被害面積目標を達成することはできなかった。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始(ハード事業)	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画(改善)の目標と実績						事業実施主体の評価	都道府県の評価
										被害金額(千円)			被害面積(ha)				
										目標値(R1年)	実績値(R1年)	達成率	目標値(R1年)	実績値(R1年)	達成率		
南伊勢町	南伊勢町	H29	ニホンジカ・イノシシ・ニホンザル	緊急捕獲事業	ニホンジカ成獣: 1,827頭、幼獣90頭 イノシシ成獣: 968頭、幼獣295頭 ニホンザル成獣: 99頭、幼獣30頭				個体数を減少させることにより、被害金額を低減させることができた。	(対象鳥獣ニホンジカ、イノシシ、ニホンザル) 3,926千円	(対象鳥獣ニホンジカ、イノシシ、ニホンザル) 3,755千円	(対象鳥獣ニホンジカ、イノシシ、ニホンザル) 162.6%	(対象鳥獣ニホンジカ、イノシシ、ニホンザル) 1.25ha	(対象鳥獣ニホンジカ、イノシシ、ニホンザル) 1.48ha	(対象鳥獣ニホンジカ、イノシシ、ニホンザル) -130.0%	本事業の活用と、町単による捕獲柵購入費の補助や、研修等による捕獲担い手の育成を行うことで、捕獲者の捕獲意欲が増し、捕獲力の強化につながったことで捕獲頭数が増えたと評価する。	有害捕獲により被害軽減効果を発現できたことは評価できません。協議会の取り組みと連携して総合的な対策となるよう進めていただけることを期待します。被害面積についても目標値が達成できるよう、より一層効果的な対策を進めていただけることを期待します。
		H30	ニホンジカ・イノシシ・ニホンザル	緊急捕獲事業	ニホンジカ成獣: 1,474頭、幼獣64頭 イノシシ成獣: 840頭、幼獣255頭 ニホンザル成獣: 68頭、幼獣12頭				個体数を減少させることにより、被害金額を低減させることができた。								
		R1	ニホンジカ・イノシシ・ニホンザル	緊急捕獲事業	ニホンジカ成獣: 1,336頭、幼獣28頭 イノシシ成獣: 987頭、幼獣290頭 ニホンザル成獣: 101頭、幼獣47頭				新たに狩猟免許を取得した若手農業者に対して、捕獲技術に関する研修会を開催した。個体数を減少させることにより、被害金額を低減させることができた。								

注1 被害金額及び被害面積の目標値欄については、達成率算定に用いた対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記入すること

注2 事業効果欄は記入例を参考とし、獣種ごとに事業実施前と事業実施後の定量的な比較ができるよう時間軸を明確に記載の上、その効果を詳細に記載すること。整備事業を行った場合、捕獲効率の向上にどのように寄与したかも必ず記載すること。

注3 事業実施主体の評価の欄には、その効果に対する考察や経営状況も詳細に記載すること

5 第三者の意見

引き続き捕獲強化に取り組むとともに、ニホンジカについては被害金額が増加していることから、捕獲に加え被害対策の取り組みを進めてください。